

令和4年度 生徒指導専門委員会研修会

実施期日：令和4年11月7日（月）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

後 援：（一財）埼玉県高等学校安全振興会

目 次

次第・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ

発表校資料

(1) 埼玉県立久喜北陽高等学校PTA・・・・・・・・・・・・ 3 ページ

(2) 埼玉県立芸術総合高等学校PTA・・・・・・・・・・・・ 7 ページ

(3) 埼玉県立岩槻北陵高等学校PTA・・・・・・・・・・・・ 11 ページ

(4) 埼玉県立寄居城北高等学校PTA・・・・・・・・・・・・ 15 ページ

令和4年度埼玉県高等学校PTA連合会 生徒指導専門委員会研修会 次 第

日時 令和4年11月7日(月)

場所 埼玉会館 小ホール

- 受付 9:30~10:00
- 【司会・進行】 埼玉県立本庄高等学校PTA会長 宮澤 真男
- 1 開会のことば(10:00)
埼玉県立川越西高等学校PTA会長 村木 宏美
- 2 開会行事(10:00~10:10)
- (1) 委員長あいさつ 埼玉県立岩槻北陵高等学校PTA会長 井上 純美
- (2) 指導講評者紹介 (司会)
- (3) 発表者・校長の紹介 (司会)
- 3 研究協議(10:10~11:30)
- (1) 実践発表 (各校20分)
- 東部支部 埼玉県立久喜北陽高等学校PTA・後援会会長 島田 和幸
【生徒指導専門委員会=久喜北陽高校PTA活動=】
- 西部支部 埼玉県立芸術総合高等学校PTA会長 金井 祐一
【明るく、アットホームでエッジの効いた県立高校】
- 南 支部 埼玉県立岩槻北陵高等学校PTA副会長 池田 智裕
【岩槻北陵高校におけるPTA活動と生徒指導】
- 北部支部 埼玉県立寄居城北高等学校PTA会長 松本 直美
【学校の教育活動と連携したPTA生徒指導活動】
- (2) 質疑応答
- (3) 指導講評(11:40) 県立学校部生徒指導課 指導主事 篠田 健志 様
- 4 情報提供
埼玉県高等学校PTA連合会より 事務局長 島崎 育夫
- 5 閉会のことば(12:00)
埼玉県立誠和福祉高等学校PTA会長 小室 育子

生徒指導専門委員会＝久喜北陽高校のPTA活動＝

埼玉県立久喜北陽高等学校PTA会長 島田 和幸

1 本校の概要

(1) 本校の沿革

本校は、昭和62年、地元久喜市をはじめ地域の皆様の熱い期待を担って、普通科と情報処理科を併置した高校として開校し、今年で36年目を迎えます。平成元年には外国語コースを設置し、先進的な教育を展開してきました。さらに、平成7年には公立高校では県内最初の総合学科に学科再編し、現在は「進学型総合学科」の高校として、入学した生徒の多様な進路希望を実現しています。

(2) 教育方針

校訓は「誠実」、合言葉は「真剣勝負」です。時代の変化に惑わされずに「心」の世界を見つめられる人材を育成します。また、以下三点を柱に、チャレンジ精神旺盛で高い目標を目指す、明るく生き生きとした生徒を育てます。

①自己教育力

自分で目標を定め、その目標に向かって主体的に自己実現ができる力を育成します。

②規律ある生活態度と責任感

きちんとした生活の中で自分が果たすべき役割を果たせる生徒を育てます。

③たくましい体と豊かな心

勉強と部活動の両立を図り、心も体も豊かな生徒を育てます。



2 学校の特徴

(1) 総合学科

本校は進学型総合学科として、週2回7限授業を実施して授業時数を確保し、受験を突破できる学力の養成を図っています。1年次はほぼ共通履修で、「北陽タイム（産業社会と人間）」では学習力を磨き、将来の進路を考えています。2、3年次は選択科目主体のカリキュラムで、人文社会国際・理数科学・情報ビジネス（看護医療系や公務員、資格取得など）の3系列に分かれ、各系列内の選択科目と自由選択科目を組み合わせ学習を進めています。選択科目は100講座を超え、しかも授業の多くは少人数で展開されるため、学習効果は大きいです。

<履修モデル>

▶ 文系大学志望の場合 人文社会国際系列モデル:「自由選択科目」を生かして進路実現!																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
2年	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ(甲・乙)		地理総合		公共		論理国語Ⅰ		古典探究Ⅰ		日本史探究 世界史探究		地学基礎 物理基礎		自由選択		自由選択		探究		産社		LHR						
3年	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ(甲・乙)		論理国語Ⅱ		古典探究Ⅱ		日本文化史 世界文化史 地理探究		自由選択		自由選択		自由選択		自由選択		自由選択		探究		LHR								

▶ 理系(理・工系)大学の場合 数理科学系列モデル:理数科目をじっくり!																																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
2年	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ(甲・乙)		地理総合		公共		論理国語Ⅰ		数学BS		生物Ⅰ 理数物理概論		化学Ⅰ			地学基礎 物理基礎 物理基礎S		数学ⅡS			探究		産社		LHR				
3年	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ(甲・乙)		論理国語Ⅱ		数学ⅢS			物理 生物Ⅱ 地学		応用物理 応用化学 応用生物		化学Ⅱ		自由選択	数学CS	理系発展数学		探究		LHR										

▶ 看護・医療系専門学校志望の場合 情報ビジネスモデル:「生物」と「看護医療数学」で受験対策																																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
2年	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ(甲・乙)		地理総合		公共		論理国語Ⅰ		ソフウェア活用Ⅰ		生物Ⅰ 理数物理概論		化学Ⅰ			地学基礎 物理基礎 物理基礎S		数学Ⅱ			探究		産社		LHR				
3年	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ(甲・乙)		論理国語Ⅱ		文学国語			物理 生物Ⅱ 地学		応用物理 応用化学 応用生物		化学Ⅱ		自由選択	看護医療数学		探究		LHR											

(2) 進路状況

開校以来の卒業生は11,000名を超え、各方面で活躍しています。卒業生の進路は、大学・短大、看護・各種専門学校、就職と多方面に及んでいますが、令和4年度の4年生大学進学者の割合は6割を超え、現役での合格率は95%であり、今後も大学進学者の増加が予想されます。

(3) 国際理解教育

① グローバル教育プログラム (2年次)

英語に親しみ英語でのコミュニケーション能力を高める目的として、各種の体験プログラムに参加し、英語でのコミュニケーション能力を高めていきます。

② イングリッシュ・サマーセミナー (希望者・隔年実施)

福島県にあるブリティッシュ・ヒルズという語学研修施設で夏休み2泊3日の英語研修を実施しています。

③ オーストラリア短期留学 (希望者・隔年実施)

夏休みに、ホームステイをしながら授業や行事に参加するという、12日間の「オーストラリア短期留学」を実施しています。



(4) 部活動

運動部18、文化部18の合計36の部活動が、まさに「真剣勝負」で活動しています。今年度、昨年度は、全国大会に山岳部とチア部が出場、山岳部は今年度もクライミング世界ユース大会に出場しました。県ベスト5には剣道部、ハンドボール部、男子バスケットボール部は3on3の県大会で優勝し東日本大会に出場、その他多くの部活動が県大会等に出場しています。

3 PTA活動

(1) 活動の目的及び事業

①保護者と教職員が協力して、生徒の健全な育成と教育活動の充実・向上を図ることを目的としています。

②目的を達成するため、次の事業を行います。

- ・学校と家庭との連絡・連携に関すること
- ・生徒の教育環境の整備に関すること
- ・会員相互の研修・親睦に関すること
- ・生徒及び会員の福利厚生に関すること
- ・その他、本会の目的達成に必要な事業

(2) 組織

本会の目的を達成するために次の専門委員会を置きます。

- ①教養文化委員会
- ②生活・進路委員会
- ③環境・スポーツ委員会
- ④広報委員会
- ⑤国際理解教育推進委員会

(3) 各専門委員会の活動

①教養文化委員会

- ・学年PTA（各学年の保護者を招集）
 - 1年（5月中間考査前日）：入学後の生徒の様子、2年次のコース科目選択について
 - 2年（10月中間考査前日）：修学旅行、3年次のコース科目選択について
 - 3年（5月中間考査初日）：進路（全体会・分野別説明会（大学短大・看護医療・専門学校・就職公務員））について
- ・文化祭参加：ビーズレザーククセサリー製作体験



②生活・進路委員会

- ・進路見学会（6月実施）
 - 本校生が多く進学する大学または目指して欲しい大学を、大型バスを利用して午前1つ、午後1つ見学する。昼食は大学の学食体験。
- ・朝のあいさつ運動年2回（8：00～8：30）
 - （7月期末考査時の朝、10月初旬の朝）
- ・久喜提灯祭の街頭指導
 - 7月12日の久喜提灯祭でに3班に分かれて巡回



③環境・スポーツ委員会

- ・親睦レクリエーション（教職員と保護者）
 - 2学期中間考査前の土曜日に行く（フロアカーリング・ソフトバレーボール・ボクササイズ等を実施）
- ・体育祭（来場した保護者の受付と給水提供）

- ・クリーン活動（卒業式前日の午後）
3班に分かれて30分間校内（校舎外）のごみ拾いを行う

④広報委員会

- ・PTA広報誌を年3回発行
6月発行…職員・PTA役員紹介号
12月発行…体育祭・球技大会・文化祭・修学旅行等の行事特集
3月発行…卒業特集号



⑤国際理解教育推進委員会

- ・国際理解教室6月：オーストラリア研修のための研修・説明会
- ・芸術教室11月：海外文化の体験（クリスマスリース作り・ハーバリウム作り、講師を招いて実施）

4 学校と家庭の連携強化を目指して

家庭は、基本的な生活習慣や人に対する思いやり、善悪の判断など、生徒が社会生活を営むための基本的なルールやマナーを身につけるうえで極めて重要な役割を担っています。その家庭がその重要な役割を適切に果たせるようにする為には、学校と家庭との連携は不可欠といえます。このような中、本校は、2年前から「家庭と学校をつなぐコミュニケーションツール」として、「グーグルクラスルーム」や「久喜北陽安心メール」を取り入れ、学校と家庭の連携強化を積極的に進めています。

(1) ツール導入前の実態

- ①保護者宛の通知・アンケート等：プリントを作成し、生徒を通して保護者に配布
⇒生徒がプリントを持ち帰らない。保護者の手に渡らない。アンケートが集まらない。
集計・結果が出るまでに時間がかかる。
- ②朝の遅刻・欠席連絡・学校への相談：保護者から電話での連絡
⇒電話が話し中で繋がらない。学校側の受け手がメモを取り、担任報告まで時間がかかる。
伝達ミス等もある。担任に相談したいことがあるが先生の都合が分からず連絡しづらい。

(2) 改善策

- ①生徒への連絡：学校⇒担任⇒生徒「グーグルクラスルーム」で連絡。
- ②学校と保護者の連絡：学校⇄保護者「久喜北陽安心メール」で連絡。

※保護者のメール登録率全校：94%

(3) ツール導入後の保護者の感想

今や100%の保護者がスマートフォンを持っている時代。そのスマートフォンに学校と共有したいデータを送ることにより、「県教育委員会や学校の考えや方針が分かるようになった」「タイムリーに情報が共有できるようになった」、「情報の保存ができ、いつでも確認ができるようになった」「アンケートが簡単に回答・返信できる」「遅刻・欠席連絡にストレスが無くなった」「学校への相談もメールでしやすくなった」など保護者との連携がスムーズになりました。

※令和4年度4月～9月上半期の送信数：グーグルクラスルーム143件

久喜北陽安心メール 62件 合計：205件

生徒指導とPTA

〈 明るく、アットホームでエッジの効いた県立高校 〉
芸術総合高等学校PTA会長 金井祐一

1 本校の概要・特色

(1) 創立年度

平成12年度（西暦2000年） 23年目

(2) 課程及び学科・生徒数等

- ・ 全日制課程
 - ・ 美術科・音楽科・映像芸術科・舞台芸術科の芸術4科のみ
1学科1クラスで各学年4クラス、合計12クラス
 - ・ 生徒人数（令和5年度当初） 412名 全県から通学
 - ・ 通学所要時間 割合
- | | |
|-----------|-------|
| 30分未満 | 7% |
| 30分～60分未満 | 25.7% |
| 60分～90分未満 | 27.7% |
| 90分以上 | 39.6% |

(3) 目指す学校像

学芸を共に高め合い、芸術文化を担う人材を育成する高校

(4) 特長

- ・ 2学期制 単位制
- ・ 総授業の約2/3が一般科目、約1/3が専門科目
スキマ時間の積み上げ等による一般科目の学習促進
- ・ ノーチャイム制

社会人講師による実技の授業では連続して授業が設定されている場合も多く、当日の活動内容や流れを定時のチャイムで遮らないようにするため、また卒業後にはチャイムに頼らず、自分のスケジュールや時間を自分で管理できるようにするために8:40の校歌のチャイムのみとしています。

- ・ 70名以上の映画監督、声優など著名な社会人外部講師と本校教員とのチームティーチングによる専門的な実技指導。
- ・ 高台にあり、緑と光あふれ、さわやかな風がそよぐキャンパス
- ・ レッスン室17、グランドピアノ31台の音楽科など、各学科の充実した施設設備、プロ仕様の機材
- ・ 各学科が実施するクオリティーの高い発表・展示活動 会場：ミューズ他
- ・ 約9割の生徒が現役で進学。（美術、音楽などの芸術系大学、演劇、放送、写真、メディア、表現体育、演劇、舞踊等の専門学科を有する大学・短大・専門学校、立教大学をはじめとする一般大学にも多くの生徒が進む。）
- ・ 早くから女子のスラックスを取り入れた清潔感とかわいらしさのある制服



2 P T A活動の概要

(1) 組織と主な活動

- ・ 本部会 (P T A・後援会正副会長)
P T A活動の統括
- ・ 運営協議会 (P T A正副会長、各委員会正副委員長)
P T A活動の潤滑な運営のための会議
- ・ 委員会
クラス委員会……大学見学会・懇親会の企画運営
教養委員会……講演会等、会員のための事業
広報委員会……広報誌「芸創」の編集発行 (年3回)
推薦委員会……次年度役員等の原案作成、推薦
- ・ 役員会 (本部会+運営協議会+委員会)

(2) 活動内容

- 4月：入学式、正副会長会議 (本部会)、新旧役員会
- 5月：体育祭、正副会長会議、P T A後援会総会、広報誌「芸創」臨時号発行
- 6月：P T Aだより発行、運営協議会、大学見学会
- 7月：正副会長会議、P後役員会、広報誌「芸創」発行、草木染め体験、大学見学会
- 9月：四つ葉祭 (文化祭) に参加 (飲食可能時は、芸総せんべい販売等)
- 10月：運営協議会
- 11月：正副会長会議、P後役員会
- 12月：広報誌「芸創」発行
- 1月：運営協議会
- 2月：正副会長会議、P後役員会
- 3月：卒業式 広報誌「芸創」発行、新入会員役員選出

(3) 活動について

全県に在住するP T A役員が、日々生徒のため、学校のために活動に取り組んでいます。また、卒業生並びに旧P T A会員等を対象に「特別会員」という制度を後援会に作り、約30名の特別会員の方々が本校を応援してくださっています。

3 委員会の活動

(1) クラス委員会

ア 保護者向け大学見学会開催

6月29日、7月6日の2行程に分かれて開催いたしました。昨年度は2年ぶりに初の4学科合同で午前みの行程でしたが、今年度は2学科合同で、午前午後を通した1日の行程で開催することができました。各学科の先生に同行していただき、進路についてのお話などを伺いました。どちらの行程も内容も充実していたとご好評をいただきました。

- **音楽科・舞台科** 桐朋学園大学→尚美学園大学 (6月29日開催)
(参加者の声)
 - ・ 施設見学の時間が充分にあり、実際の授業の様子がよくわかった。
 - ・ 2つの学校を見学でき、それぞれの特徴がわかって参考になった。
- **美術科・映像科** 東京工芸大学→武蔵野美術大学 (7月6日開催)
(参加者の声)
 - ・ 芸総卒業生の入試対策などが、直接本人から聞けてとても良かった
 - ・ 学食で食べることができ、学生の普段の姿を身近に感じられた。

イ クラス懇親会開催

保護者同士の交流の機会を持つため、各学科やクラスで保護者の参加率の高い学校行事の前後に開催しています。例年年一回となっています。

(例) 体育祭昼休み、学科保護者会終了後のクラス会など

(2) 教養委員会

体験講座 「フレッシュなブルーが美しい藍の生葉染め体験」

保護者も芸術活動を行ない、参加者同士の交流を図るために、館長さんに本校の評議員をしていただいている文化創造アトリエAMIGOで実施し、鮮やかなブルーのスカーフができあがり、皆笑顔になりました。

学年や学科を超えた催しで、面と向かっての集まりではなく、作業前後や作業中のふとした時間に子供の様子や進路について情報交換ができて有意義でした。



藍の生葉を丁寧に摘む



ブルーのスカーフを首にまいて

(3) 広報委員会

各種行事を取材し、広報誌「芸総」を原則年間3回発行。

編集作業組と事務作業組の分担により活動。

4 生徒指導に係るPTA活動(本部の活動)

(1) PTAお知らせメール 学校との共用

PTAから様々な連絡をメールで配信しています。学校と共用とし、学校からの連絡も送付します。登録は毎年度新たに行い、現在の登録率は約94%です。

(2) 体育祭

熱中症対策のために給水所にタンクとコップを用意していましたが、コロナ禍になって以来ペットボトルのお茶とスポーツドリンクの配布をしています。当日は校内の自動販売機はすぐに売り切れとなるため、2本ずつの配付は好評でした。

(3) 文化祭

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公開対象を在校生との家族と中学3年生と保護者及び中学1，2年生に限定して開催しました。また、土曜日、日曜日のそれぞれ午前午後の4ブロックに分けて事前申込制とし、来校者は昼食時には一度校舎外に出ることとしました。

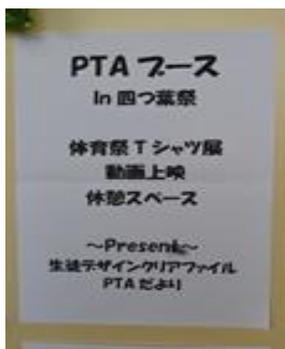
P T Aでは、教室で活動報告などを展示・上映するとともに、生徒がデザインしたクリアファイルを作成し、中学生にプレゼントしました。

また、昼食時に退館する来校者向けに、別棟の休憩スペースを設置したことから、校舎の昇降口から休憩スペースまで並び、案内を行いました。

限定公開とはなりましたが、特に3年生については在校中初めての公開であり、保護者は作品・発表などを実際にみて楽しむことができました。



保護者ブース (左) と看板 (右)



生徒デザインのクリアファイル

5 本校の生徒指導、P T A活動の課題などについて

本校の生徒たちは芸術を学び、自分の感性を高め技術を向上させようという強い目的意識を持って入学して日々の学校生活を過ごしており、所謂生徒指導案件はほぼ皆無です。

生徒は全県にまたがる200近くの中学校の出身で、P T A会員の居住地が県内全域に広がっているために、なかなか集まることができず、P T Aの会議や催しの企画は工夫する必要があります。回数は多くないですが、行事当日など機会を捉えて学科全体やクラスの保護者で集まって、情報や意見交換などを行っています。

高校生活を送る中では学校生活や進路等について様々な悩みが各家庭にあると思います。本校においては学校にP T Aが出向いて生徒指導に関する活動を行うよりも、生徒が安定した高校生活が送れるよう様々な形で保護者同士及び学校と保護者が連携し、相談や情報交換を行うことが生徒指導に役立つと考えています。

オンライン活用なども取り入れて連携を図り、保護者の心の安定や生徒の活動の後押しなどを進めていきたいと考えています。

埼玉県立岩槻北陵高等学校

PTA会長 井上 純美

1 本校の概要

本校が設置されている、さいたま市岩槻区は、多くの丘陵と元荒川、綾瀬川流域の水田が織りなす起伏に富んだ地形を有し、室町時代に太田道灌が白鶴城を築城して以来、江戸時代は城下町として、現在は雛人形の町として全国に知られています。本校は、昭和56年4月、旧岩槻市をはじめとする地域の皆様の期待を担い全日制普通科高校として創立されました。白鶴城址の北方3km、桜の名所である親水公園や玄奘三蔵（西遊記の三蔵法師のモデル）にゆかりの深い「慈恩寺」などに囲まれた自然豊かな環境に位置しています。現在、創立42年を超えて、卒業生は約9,000名に及んでいます。



「地域の信頼に応え、節度と規律を重んじ、新たな自分の創造に向け、主体的に学び続ける生徒を育む学校」を目指す学校像に掲げ、生徒一人ひとりが自ら学び、その能力を発揮できるように取り組んでいます。特に、校歌にも歌われる本校校訓「剛健進取」に込められた「生徒も教員も、たくましくすこやかで、自ら進んで事をなす」という精神を育てています。岩槻北陵高校PTAも、「自ら進んで事をなす」、勉学にも部活動にも一生懸命に取り組む大切さや喜びを学ぶことなど、岩槻北陵高校での経験が実社会でも役立つ教訓になることを期待して支援しています。具体的には、次の3つのことが身につくように教育目標に挙げています。

- (1) 明るい挨拶と身だしなみ
- (2) 5つの力（学ぶ力、継続する力、考える力、挑戦する力、耐える力）
- (3) 折れない強い心

2 本校の現状と課題

本校在籍生徒数は385名で、男子207名、女子178名です（R4.9月時点）。各学年、約130名の生徒数であり、いわゆる小規模校です。部活動は、サッカー部やバスケットボール部等の12運動部、音楽部や放送部等の9文化部があります。部活動全般において、これまでの部顧問の先生方の努力により、積極的に部活動に参加する生徒が増え、人数が少ない部活動であっても活発に活動をしています。進学率は約40%、就職が約50%で、徐々に大学への進学者数が増えてきています。

これまで、少人数学級編制や「学び直し」等の取組を行い、一定の成果が出てきつつあります。しかしながら、ヤングケアラーやネグレクトなど家庭環境等を原因とする問題も顕在化する中、学び直しからどのように進路実現に向けて取り組んでいくかが、本校の課題の1つとなっています。



サッカー部



バスケットボール部



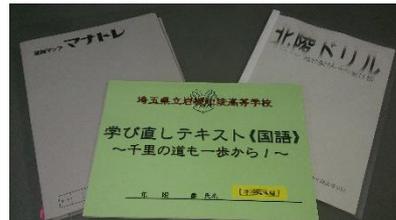
音楽部



放送部

3 特色ある取組

本校には、学習面、生活指導面で特別な配慮や支援を必要とする生徒や外国籍で日本語の習得に課題のある生徒が多数入学し、在籍しています。そのため、県より少人数学級編制の認定を受け、さらに1学年の数学及び英語においては、それぞれ習熟度別授業及び少人数展開の授業を実施するという、生徒一人一人に丁寧な指導を実施できるよう対応しています。特に、国語、数学、英語の3教科では、学校独自の「学び直し教材」を使用した指導を行い、基礎的な学力の向上に努めています。



外国籍生徒に対しては、日本語教育に特化した「多文化共生推進員」の指導の活用、生徒の学習面・生活面の両面に対しては「共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業」等の県教育委員会の事業を積極的に活用しております。また、生徒のために、教育相談員やスクールカウンセラー等の教育相談体制を整えて、生徒の毎日の生活が、より豊かになるよう支援体制を整えております。



4 生徒指導の現状と取組



かつては遅刻者や欠席者も多く、生徒指導の対象となる生徒が多数いました。その中で「力に頼らず・たゆまず・逃げない指導」を掲げ、学校担当者間の情報共有と連携による問題行動の未然防止と問題行動発覚時の即時対応、そして保護者と連携を密にしたこれまでの様々な取組・指導により、その成果が表れています。近年では、生徒が落ち着いて授業に臨み、生徒会や委員会活動、部活動、PTA行事に参加する生徒たちが、自分たちで積極的に行動できるようになってきています。

[本校生徒指導の具体的取組]

(1) 遅刻指導

遅刻カードを生徒自身で記入し、日々の担任指導や学年指導など、学校としての段階を踏んだ指導を行っています。月5回以上の遅刻者には3日間の学年指導の他、記入カードをもとに年間遅刻指導を行っています。(学年主任指導、生徒指導部主任指導、教頭指導、校長指導)

(2) 身だしなみ指導・頭髪指導

各学期の始業式及び定期考査(中間・期末)期間に実施しています(年8回)。

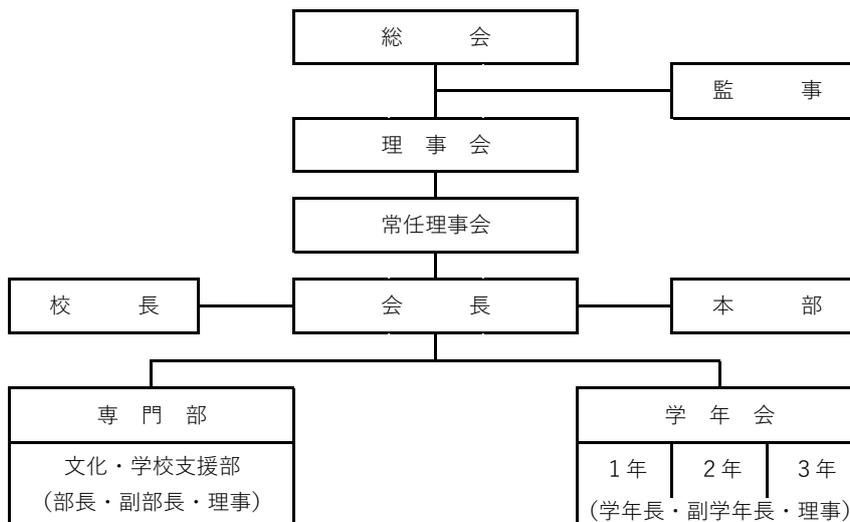
その場で改善できない場合は、帰宅・再登校指導等を行っています。近年は、再指導を受ける生徒はほとんどなくなりました。

(3) 登下校指導等

登校指導、下校指導を各学期に1回実施しています。また、通学路において歩道が狭くなる場所があり、定期考査期間中等、生徒の帰宅が通常より早くなる期間に「下校巡回指導」を実施しています。

5 P T Aの組織と各専門部の活動概要

(1) 組織



(2) 各専門部の活動概要

本校のP T A活動は、保護者と教職員が相互の研修と協力によって、生徒の健全な育成と教育活動の充実、振興を図ることを目的として取り組んでいます。

会長、副会長、理事等で構成される「理事会」を年5回開催し、また、専門部会や学年会は必要に応じて随時開催しています。

各専門部の活動内容は以下のとおりです。

(ア) 本部

- 研修や親睦に関すること
- 教育環境の整備に関すること
- 学校行事への協力に関すること

(イ) 文化・学校支援部

- P T A活動の推進、学校の教育活動の支援・協力に関すること
- 学校・生徒・保護者の活動に関する広報活動に関すること



6 生徒指導面におけるP T Aの具体的活動

(1) あいさつ運動

正門や昇降口付近で登校する生徒たちに「あいさつ」をすることで交流を図ると共に普段の生徒の様子を保護者の方に知っていただき、日々のP T A活動につなげています。

(2) 花いっぱい運動



生徒が気持ちよく学校生活を送れるように、また学校に来校する方を気持ちよく迎えるために、正門前から事務室前玄関及び中庭に「花」を植えます。年2回(6月と2月)に実施するもので、P T Aだけでなく、生徒会や部活生徒の参加もあり、P T Aと生徒会等生徒との交流を図る行事ともなっています。



(3) 学校行事

(ア) 体育祭

ここ数年は、コロナ禍により自粛となっていました。来校する保護者に体育祭プログラムや飲み物、投票用紙の配布など受付・案内を行っています。毎年100名以上の保護者が来校しており、生徒の活躍を応援しています。本校では、学年を超えて構成される「団」があり、団旗や団Tシャツの投票などを行い、体育祭を盛り上げています。団活動は、体育祭以外の行事ごとでも競い合い、年間の総合優勝を目指すことで、学校全体の一体感の醸成及び学校生活の活性化につながっています。



(イ) 文化祭

保護者や来場者用の休憩所の運営や保護者や教職員の作品展示などを行っています。保護者の方が参加しやすくなるよう、毎年趣向を凝らしています。作品展示では、PTA研修旅行の旅行先で文化的な作品制作（体験）を行い、その作品を展示するなど、研修旅行の成果も発表しています。



(ウ) 長距離走大会



実施会場である渡良瀬遊水地は、栃木・群馬・埼玉・茨城の4県にまたがる我が国最大の遊水地です。自然豊かな会場で男子10km、女子7.5kmのコースを走ります。主に、スタート地点とゴール地点で応援や取材を行い、ゴールする生徒には飲み物を配布します。

7 おわりに

本校のPTA活動は、平成28年に組織を大きく見直しを図り、また活動の在り方を検討しました。ここ10年で大きな変化はしていませんが、組織的にも事業的にも本校PTAの実情に即した形で見直しを進めたことから、より効率化したものになり、「できる人が、できる時に」を合言葉に、PTA役員同士のつながりが強化され、活動が活発化しました。

本校のこれまでのイメージは、いわゆる生徒指導の「困難校」でしたが、先生方の熱心な指導やPTAの後方支援的な活動など地道な取組により近年学校の様子が変わってきました。

本校は、先日、県教育委員会から公表された「魅力ある県立高校づくり第2期実施方策(案)」により、令和8年度に県立岩槻高等学校と統合し、新校として新たな歴史がスタートします。

「役員だけでなく、保護者全体で生徒を応援できる体制を進めよう」という気運もより高まりを見せており、引き続き、子どもたちが充実した学校生活を送り、日々学び成長できるよう、本校の教育方針、教育環境整備を支援していきたいと考えております。



令和4年度 埼高P連(生徒指導)専門委員会研修会発表資料

「学校の教育活動と連携したPTA生徒指導活動」

埼玉県立寄居城北高等学校 P T A会長 松本直美

1 本校の紹介

(1) 校訓・目指す学校像・特色・部活動

本校は県立高校中期再編整備計画により寄居高校と川本高校が統合して、熊谷・深谷・本庄・寄居地区で初めての総合学科高校として平成20年4月に開校し、今年15年目を迎えました。「誠実・貢献・創造」を校訓とし、「一人ひとりが個性輝く 元気な学校」を目指す学校像とし、総合学科の特色を生かした教育活動を展開する中で、将来社会に貢献できる人材の育成を目指しています。全体のおよそ65%が女子生徒で、現在の男女比は概ね2:1で女子生徒が多い状況にあります。

総合学科である利点を生かし、多様な生徒のニーズに対応できる教育課程を編成・実施しています。学習グループとして「文理総合系列」「情報ビジネス系列」「健康教養系列」の3系列を設定するとともに、多くの選択科目を用意して指導に当たっています。さらに5クラス規模を6クラスに展開する「少人数学級編成」、国数英の3教科について2クラスを学習状況により3展開にする「習熟度別授業展開」、その他「高大連携事業」「小中高合同事業（花いっぱい運動・あいさつ運動）」など、多岐に渡る教育活動を展開して、地域に信頼される学校運営に邁進しています。

部活動は、現在、運動部が13、文化部10あります。今年度は剣道部男子が関東大会出場を果たしました。3月には弓道部女子が東日本大会に出場します。文化部も、日々がんばっており、発表会、展覧会、ボランティア活動などで、活躍しています。



(写真1 正門より校舎を臨む)



(写真2 総合学科棟とスクールバス)



(写真3 総合学科棟 産社室)



(写真4 総合学科棟 陶芸室)



(写真5 剣道部男子関東大会出場選手)



(写真6 現行スクールバス)

(2) スクールバスの運行

後援会の活動としてスクールバスを運行しています。3路線に運行され、児玉・神川・本庄・上里・深谷から登校する生徒にとっては、安全性や利便性で大変喜ばれています。

2 本校のPTA組織について

PTAの組織について紹介します。本部には、PTA会長の他、副会長8名、専門委員長5名、監査2名、幹事6名が割り当てられています。この他、7つの支部を設け、各支部を統括しています。本部に専門委員長が5名いますが、本部に5つの専門委員会を設置しています。

- ・「総務委員会」は、研修旅行の企画立案、当日の運営を担当しています。
- ・「生活指導委員会」は、登下校の指導や、マラソン大会での子供たちの監察・応援等を担当しています。
- ・「広報委員会」は、広報誌「城北」を年2回発行する作業を担当しています。
- ・「進路指導委員会」は、就職希望者に対する面接指導の支援や進路見学会の企画立案、当日の運営を担当しています。
- ・「三校合同委員会」は、近隣の小中学校と合同で行う「花いっぱい運動」や「笑顔であいさつ運動」の運営を担当しています。

本校においてはPTAの生活指導は、生活指導委員会と、生活指導委員及びPTA本部役員からなる三校合同委員会で主に担っています。

【PTA年間行事予定】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
・入学式	・PTA総会 ・第1回役員会 ・各種委員会	・PTAだより作成・発行 ・花いっぱい運動、笑顔で挨拶運動	・第2回役員会	・PTA研修旅行 ・PTA後援会模擬面接会	・第3回役員会
10月	11月	12月	1月	2月	3月
・文化祭保護者公開対応 ・花いっぱい運動・笑顔で挨拶運動	・マラソン大会監察		・第4回役員会 ・花いっぱい運動	・PTAだより作成・発行	・卒業式 ・入学許可候補者説明会

3 本校のPTAによる生活指導

(1) 学校と連携したPTA活動

・下校指導、挨拶運動

各支部の生活指導委員会の方が、支部ごとに下校時に生徒に声掛けを行います。



(写真7 下校指導前の集合状況)

・マラソン大会監察応援

11月に行われる本校マラソン大会において、生活指導委員会による、道路横断箇所等の危険な個所の監察や生徒に対するの給水支援や応援を行います。

(2) 地域と連携したPTA活動

・小中高花いっぱい運動

学期に1回(年3回)桜沢小学校・寄居中学校と連携して、約70鉢に花植えを行い、設置しています。かつては最寄りの桜沢駅構内の設置でしたが、駅の無人化にともない、設置箇所を各校ロータリーに変更しました。



(写真8 花いっぱい運動開会式)



(写真9 花いっぱい運動終了時の集合写真)

・小中高笑顔であいさつ運動

学期に1回(年3回)桜沢小学校・寄居中学校と連携して、桜沢駅において通勤、登校する地域の人への挨拶を行っています。



(写真10 笑顔で挨拶運動①)



(写真11 笑顔で挨拶運動②)

・校外巡回指導

寄居町の水天宮祭に本部役員が巡回指導と祭りのアナウンサーに激励を行っています。（祭りのアナウンサーは野球部マネージャーが請け負っています。）



(写真12 アナウンス生徒への激励)

4 その他のPTA活動

その他のPTA活動として、「進路見学会」があります。卒業生たちがお世話になっている企業や学校等を見学させていただく機会としています。今年度はPTA・後援会の研修旅行として、専門学校・大学での研修を計画していましたが、コロナ対応のため中止しました。

また、就職を希望している子供たちに模擬面接指導を行っています。これは、同窓会の役員さん、後援会、PTAの役員さんも協力し、子供たちの夢が実現するよう支援しています。面接官の選考については、PTAは進路委員の方を中心として選考しています。今年度も、就職希望者約60名の生徒を対象に実戦さながらな模擬面接指導を行いました。



(写真13 進路見学会)



(写真14 模擬面接指導)

5 今後の展望

本校PTAは、PTA単独ではなく、同窓会や後援会とも連携協力し、学校と協働しながら子供たちのための教育活動を支援しています。PTA活動を通して学校の活性化に繋げ、子供たちが一層充実した学校生活を送ることができるようになると共に、一人一人の夢の実現に少しでも役立てればと考えています。今後もPTA、同窓会、後援会、学校がチームとして一体となり、素晴らしい教育活動に取り組めるよう会員一同努力していきたいと思いを。